

特別支援教育への理解を深めるために

本校には、ことばの教室に通っているお子さん、スクールカウンセラーとの学習等取り出し学習を行っているお子さん、すずかけ学級、たけのこ学級、ひまわり学級に在籍するお子さん等がいらっします。

どの子も、その子にそった配慮、個別の支援を受けながら、自分の力や良さを発揮し、自立するための力を培っております。

その理解を深めるために、今年度は今週中に各学級で以下のような話を担任がしていきます。

隣の人の顔を、自分の顔と比べてみて下さい。違いますよね。

隣の人のよいところと自分のよいところを見つけて下さい。違いますよね。

一人一人、顔も違うし、良いところも違います。

これを「個性」と言います。

一人一人には、良いところもあるし、苦手なこともあります。

苦手なことは自分でがんばることも大切ですが、教えてもらったり手伝ってもらったりすることも大切です。

- ・友達から教えてもらう。
- ・先生から教えてもらう。
- ・ゆっくり教えてもらう。
- ・静かなところで教えてもらう。
- ・友達や先生から手伝ってもらう。

一人一人「個性」が違うので、いろいろな方法があります。みんな自分に合った方法で、苦手なことがなくなるようにがんばっています。

二小には、すずかけ学級、たけのこ学級、ひまわり学級、それから、ことばの教室があります。また、スクールカウンセラーの先生と学習している人もいます。

これらは、学習の仕方を工夫し、苦手な事を教えてもらったり、じっくり考えたりする場所のひとつなのです。

別の場所で学習してきた人には、「どこで何をしてきたの。」などといちいち聞かないでください。「おかえり」と優しく声をかけてあげるのもいいですね。

がんばっている人を見つけたら、「すごいね。」「上手だね。」とほめてください。

困っている人には、「どうしたの?」「手伝おうか?」と声をかけて、助けてあげてください。

わたしたちは、だれでも得意なこと、苦手なことがあり、人それぞれです。自分が言われたいやなことは、だれでもいやなのですから、いやなことや傷つくようなことは、絶対に言ってはいけません。

世の中には、いろいろな人がいます。個性の違いを冷やかしの種にしたり、馬鹿にする材料にしたりしてはいけません。

朝陽二小が、もっともっと思いやりあふれる学校になることを期待しています。

特別支援教育への理解を深めるための話でもありますが、これは多様性を認めていく話、一人一人を大切にしていける話です。こんな学校にしていきたいものです。

(文責 校長)